活動報告

2016年度前期自治員会総会からの半年間の間に
学生自治会が行った活動について簡単に報告します。

要望書に関する活動

● 要望書説明会を開催できるよう、大学に要請

学生自治会は、2015年度に大学に提出した要望書についての説明会を開催するため、2015年度に大学に提出した要望書の各要望項目に対する回答と説明会への参加を大学に要請しました。

● 要望アンケート・事前アンケートの実施

学生自治会は、2016年10月3日から11月11日にかけて中百舌鳥キャンパスとりんくうキャンパスの学生を対象に要望アンケートを行い、大学や学生生活に対して学生が抱いている意見や要望を収集しました。また、学生が注視していることや興味・関心のあることを調査し要望アンケートに反映するため、2016年7月4日から8月5日にかけて事前アンケートを実施しました。事前アンケートには67通の回答が、要望アンケートには11月18日現在1003通の回答がありました。

● 要望書案・要望書資料の作成

学生自治会は、要望アンケートを通して得られた意見や要望をもとに要望書案を作成しました。また、要望書案の要望内容に関しての詳細や補足を記載した要望書資料を作成しました。

情報収集・情報宣伝

● 学生の意見や要望、大学や学生生活に関する情報の収集

学生自治会は、意見箱やインターネットなどの情報収集手段を活用し、学生の意見や要望、大学や学生生活に関する情報の収集を行いました。また、大阪府大学教職員組合(以下、府大教)や学生センターとの話し合いを行い、大学や学生生活に関する情報の収集を行いました。収集した意見や要望は適宜学生自治会の活動の参考にしました。

● 大学や学生生活、学生自治会に関する情報の宣伝

学生自治会は、情報収集によって得られた大学や学生生活に関する情報や学生自治会の活動に関する情報を、自治会総合情報誌『NASCA』やウェブサイト、『Twitter』などの情報宣伝手段を活用し、学生に対して宣伝しました。

大学の運営計画や府市大統合に関する活動

学生自治会は、大学関係者や府大教との話し合いおよびインターネットなどを通じて、大学の運営計画や府市大統合に関する情報の収集を行いました。11月18日までに行った情報収集の結果、8月22日に行われた第5回副首都推進本部会議にて、府市大統合の検討について、今後は2016年4月に副首都推進本部の下に発足した新大学設計4者タスクフォースにおいて、幅広く研究者や経営者等から意見を聴きながら、府市大統合の効果の検証と提案の内容を充実させていく予定であるとの情報が得られました。

また、学生自治会は、2016年5月から6月にかけて実施した府市大統合に関するアンケートの結果を自治会総合情報誌『NASCA　vol.53　要望アンケート情宣号』に掲載するとともに、府市大統合に学生の意見を取り入れてもらうため大学に提出しました。

立て看板管理局

● 立て看板やステージバックの管理

立て看板管理局は、立て看板やステージバックによる事故を未然に防ぐため、雨天時や強風時には立て看板を倒す、立て看板の定期的な見回りを行う、立て看板やステージバックの修理を行うなど立て看板やステージバックの管理を行いました。また、立て看板やステージバックの使用方法に問題のある団体に対しては適宜指導を行いました。

● 立て看板の使用方法についてのマニュアル配付および講習会の開催

立て看板管理局は、立て看板の管理団体である白鷺祭実行委員会、友好祭実行委員会や立て看板の使用団体に対し、立て看板やステージバックの使用方法や設置場所について記載したマニュアルを配付し、立て看板の使用方法についての講習会を開催しました。

● 第68回白鷺祭本祭典中の管理体制についての検討および強化

白鷺祭本祭典中には、立て看板やステージバックの危険性を知らない多数の一般の方が中百舌鳥キャンパスを訪れるため、立て看板やステージバックによる事故が起こる可能性が平時よりも高くなると立て看板管理局は考えました。そこで立て看板管理局は、第68回白鷺祭本祭典中の管理体制の強化について検討を行い、管理体制を強化しました。

学生団体連絡会議

● 学生団体間での会議の開催

学生自治会は、学生団体連絡会議の構成団体として月に一度定例会を開き、団体間での情報交換を行うとともに各学生団体の活動が円滑に行われるよう調整を行いました。

● 第35回全学新歓実行委員会への協力

11月の学生団体連絡会議では、第35回全学新歓実行委員会が「これから大阪府立大学に入学する新入生が抱くであろう不安や疑問を取り除き、学生同士の交流を深める機会を作ることにより、いち早く大学に馴染めるようにサポートする。」という活動意義のもと発足しました。

学生自治会は、全学新歓実行委員会に対して、実行委員として学生自治会役員が参加し、活動場所として学生自治会室を提供することで第35回全学新歓実行委員会に協力しました。

● 学生センターとの話し合いへの参加

学生団体と大学との間で話し合いや意見交換を行うことで、学生団体は大学の情報や実状を、大学は学生団体の活動を把握することができます。互いの実状や活動を把握することは学生団体の活動がより円滑なものとなり、大学運営がより学生の実情が反映されたものとなることにつながると学生自治会は考えました。そこで学生自治会は、学生団体連絡会議の構成団体として、学生センターとの話し合いに参加し、大学との情報交換や意見交換を行いました。

大型PA再購入実行委員会

学生自治会は、大型PA再購入実行委員会の構成団体として、月に一度定例会を開き、大型PAの現状確認や構成団体間の情報共有を行いました。

ステージ管理委員会

- 定例会の開催

学生自治会は、ステージ管理委員会の構成団体として、ステージの安全な管理・運用を行うため、月に一度定例会を開き、ステージの現状確認や、ステージの管理・運用・再購入に関する話し合いを行いました。

- ステージの管理業務

ステージ管理局は、ステージを安全に運用していくため、ステージの監視・保護およびステージの使用団体に対しての注意喚起を行いました。

2016年度後期自治委員会総会は、
12月12日月曜日
A5棟大講義室にて行います。
開場：18:00～
開会：18:40～
詳しくはP.2~3をご覧ください。
みなさんの参加を
お待ちしています！